

ヨコハマ人・まち

まちへ人がまちをつくる

発行：横浜市都市整備局都市づくり部地域まちづくり課
Tel 045-671-2696 Fax 045-663-8641 E-mail : tb-chiikimachika@city.yokohama.jp
取材・編集：NPO法人 市民セクターよこはま
Tel 045-222-6501 Fax 045-222-6502 E-mail : info@shimin-sector.jp

vol.35



商店街めぐり 2 六角橋



商店街めぐり 1 元町



商店街めぐり 3 仲町台



今号のテーマ
商店街が
まちのチカラをつくる
地域も特性も異なる3つの商店街
商店同士だけでなく住民や学校・学生などとも連携し、
個性豊かなまちづくりを発信しています

Let's go shopping!



郊外への大型ショッピングセンターの進出、消費者の生活スタイルの変化... 全国の至るところで商店街が元気をなくしているという話があります。

商店街は商いが行われる場所であるとともに、周辺に暮らす人々がイベントを楽しんだり、会話を交わしたりする生活に密着した場所でもあります。今号では「商店街がまちのチカラをつくる」と題して、横浜にある個性的で魅力ある3つの商店街の取り組みを「まちづくりの視点」から紹介します。

読者のみなさんも、地元の商店街を訪れ、その姿から自分たちのまちづくりについて考えてみてはいかがでしょうか。





元町

協同組合 元町エスエス会
商店街振興組合
元町クラフトマンシップ・ストリート



地域がつくる “まちのルール”



壁面線後退等が段階的に整備された元町ショッピングストリート



イベントで盛り上がる元町仲通り

元町の個性あるまちづくり

JR 根岸線石川町駅とみなとみらい線元町・中華街駅を東西に結ぶ間に、約 600 メートルに渡り元町商店街があります。開港以来、元町は西洋文化を学び、同時に市民主体のまちづくりの歴史も刻んできました。今回は、「元町ショッピングストリート」をエリアとする協同組合元町エスエス会（元町 SS 会）、そして元町仲通りなど 5 つの通りをエリアとする商店街振興組合元町クラフトマンシップ・ストリート（元町 CS）を取材しました。

元町の通りを歩くと、個性あるまち並みにオリジナリティを感じます。元町 SS 会は、壁面線後退（1 階部分のセットバック）、歩車道の整備（一方通行／石張り）など、計画的にまちづくりを進めてきました。一方、元町 CS は、元々は職人の集まる通りでしたが、「職人・商人・住民が近接・共存する商店街」をコンセプトに、三者が一緒になって、個性的なものづくりにこだわるまちづくりを進めています。

地域によるまちのルールづくり

まちづくりを進める上で重要な役割を果たしているのが“まちのルール”です。例えば、みんなで共有したコンセプトに基づき、一体感のあるまちをつくるためには、業種・業態の制限が必要かもしれません。建物の用途、色やデザイン、看板などにも一定の基準が必要です。

こうしたルールは、地域の力によってつくられます。元町では地域の発意によって「地区計画」が決定・運用されてきました。また、地域で策定・運用していた「まちづくり協定」をさらにわかりやすく整理し、昨年横浜市の地域まちづくりルールの認定を受けました（★）。

ルールをつくるためには、アンケートをとったり地権者や住民に説明をしたりと、ボランティアな力が欠かせませ

ん。また、地域まちづくりルールの運用や意見のとりまとめをするためには、事務局機能の充実が必要でした。そのため、事業収入や会費で十分な収入を得られるように工夫をしています。

ルールづくりが地域をつなぐ

ルールづくりの過程では、各商店会や自治会が集まって「元町まちづくり協議会」が生まれ、『オール元町』の機運が高まりました。「集まったメンバーには、行政主導ではなく、まちが好きな私たちがつくるんだという想いがあった」と、元町 SS 会副理事長の金指さんは言います。

ルールがあると何かと面倒なこともあります。元町 CS の街づくり委員長三浦さんは「守れないルールはつくらない」「つくったからには守る」と話し、みんなで個性あるまちづくりを進めています。

横浜元町ショッピングストリート

<http://www.motomachi.or.jp/>

元町クラフトマンシップ・ストリート

<http://motomachi-cs.com/>

★みんなでつくろうまちのルール（横浜市都市整備局地域まちづくり課）

<http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/machirule/>



六角橋

六角橋商店街連合会



まずやってみる
まちの個性をつくり出す



昭和30年代の風情を残すアーケード街、旧仲見世（六角橋ふれあい通り）

昭和の雰囲気を残す商店街

東急東横線白楽駅西口から少し歩いて通りに出ると、今なお、昭和30年代の風情を残す六角橋商店街が現れます。肩がぶつかりあうような路地が続く旧仲見世（六角橋ふれあい通り）に入ると、間口の小さな店が立ち並んでおり、歩くだけでもわくわくする空間です。映画やドラマのロケ地としても数多く使われているようです。

そんな六角橋商店街は、十数年前、空き店舗の増加に頭を抱えていました。その対策として、商店街のシンボルとなるようなイベントをしようと機運が高まり、今では名物となった「ドッキリヤミ市場」（夜のフリーマーケット）や「商店街プロレス」などが生まれました。



多くの人を集める「ドッキリヤミ市場」

だめだったら、やめればいい フットワークよく、まずやってみる

商店街のシンボルとなるイベントとして定着したドッキリヤミ市場や商店街プロレス以外にも、さまざまな企画を実施しては中止ということを繰り返しました。採算に見込みがなかったり、オリジナリティが欠けていたら中止し、次のイベントを考えるそうです。今も続くこうした挑戦が、六角橋商店街の動きのあるにぎやかな雰囲気を支えています。

イベントの担い手としては、商店街の人々やイベントに参加するアーティストたちの協力のほか、近くにある神奈川大学の神大フェスタ実行委員会などのサークルも、運営スタッフとして大きな力となっています。また、同大学の神大フェスタのときには、逆に商店街から神大フェスタに出店するような交流があります。時には、商店街と交流が

深かった卒業生が商店街の中で「ストリート結婚式」を挙げるがありました。

まちがどう見えるかをデザインする

ドッキリヤミ市場の出店者が、ここを気に入って出店することも多く、空き店舗はほとんどなくなりました。そのような成長するまちづくりの秘訣は何でしょうか。六角橋商店街連合会の販売促進部長である石原さんは、「B級」や「サブカルチャー的」といったキーワードを挙げて、「まちがどう見られているかを意識してデザインする」と話していました。イベント等を通して六角橋商店街の雰囲気を伝えれば、「共鳴する人が自然と集まり始める」のだそうです。

日常のコミュニケーションがまちづくりのカギ！

路地裏・横丁文化が残る六角橋商店街では、ちょっとした店番を隣の店主に頼んだりといった親密な関係性がいまだに残っており、また新しく入ってきた人も不思議と溶け込みやすいのだそうです。このような日常のコミュニケーションが、フットワークの軽さやまちの一体感を生みだしているのかも知れません。

六角橋商店街 <http://www.rokkakubashi.jp/>



Key Persons

六角橋商店街連合会 糸井さん

六角橋商店街連合会 石原さん

仲町台

仲町台商業振興会



”
“
町内会とともに取り組む
ふるさとづくり”



仲町台駅周辺に広がるまち並み

コンセプトのある新しいまち

港北ニュータウンのある都筑区は、区民平均年齢38歳と若い人が多く住むまちです。その中でも市営地下鉄仲町台駅の周辺には、「自然と人間(まちづくりテーマ)」、「ネオ・クラシック(デザインテーマ)」などをコンセプトとし、花と緑が豊かな統一感のあるまち並みが広がります。

15年前、この新しいまちにはまだ商店街組織がありませんでした。そこで、商店や企業が集まり、仲町台商業振興会が発足しました。

新しいまちで“ふるさとづくり”が始まった

仲町台は、お洒落な飲食店が多いまちです。そこで、この特徴を活かし仲町台商業振興会では、飲食店自慢の料理を提供する「食をテーマ」にしたイベントを考えました。そして、地域のイベントとなるよう町内会のみなさんにも呼びかけ、夏祭りを兼ねて実施する「グルメフェスタ in 都筑の夏祭り」が開催されました。飲食店自慢の料理を提供する模擬店、地域のお神輿や地元の中学校のブラスバンドの演奏、また、夕方からは、盆踊りと大変賑やかなイベントとなっています。



仲町台商業振興会と地域の人们で協力し行うこのイベントは、毎夏の恒例行事として多くの人を集めるようになっています。

新しい住民が多いとはいえ、この地で生まれ育った子どもたちにとっては、仲町台が「ふるさと」です。仲町台商業振興会と町内会が一緒になって新しいまちならではの“まちづくり”“ふるさとづくり”が始まりました。

さらに連携、さらに活力ある仲町台へ

ゼロからつくり上げてきたまちづくりについて、「最後には自分たちのまちに返ってくることだから誰かがやらないといけない」「ぜひ周りの人に応援してもらい、もっといいまちにしていきたい」と、仲町台商業振興会会長の渡辺さんは言います。

今後はマンションの新しい住民も巻き込みながら、まち全体の活性化のため、さらなる地域連携を推進する手立てを模索中です。

仲町台商業振興会

<http://www.nakamachidai.net/index.asp>

Key Persons



ぜひ周りの人に
応援してもらい、
もっといいまちに
していきたい。

仲町台商業振興会
木伏さん(左側) 渡辺さん(右側)

まちづくりについての情報を募集しています。

まちづくりに関するイベントや参加者募集、地域で行っているまちづくりの取組みなどの情報を下記までお知らせください。このページ及びメールマガジン「ヨコハマ人・まち」で広報のお手伝いをします。

情報提供のあて先：

横浜市 都市整備局 都市づくり部 地域まちづくり課

Tel 045-671-2696 Fax 045-663-8641

E-mail tb-chiikimachika@city.yokohama.jp

「ヨコハマ人・まち」のメールマガジンは地域まちづくりに関心のある方への転送、お誘い大歓迎です。

メールマガジンの配信申込み・停止は、下記のアドレスからお願いします。

<http://ml.city.yokohama.jp/mailman/listinfo/hitomachi>

★「ヨコハマ人・まち」バックナンバーはこちら

http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/chiikimachi/hitomati/back_num/